

トマト 調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項 目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区		10株×3反復=30株(5株×3反復=15株)	12.0㎡(6.0㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	10株(5株)	4.0㎡(2.0㎡)
	収量調査等	10株(5株)	4.0㎡(2.0㎡)

*: 夏秋どり雨よけ栽培で栽植距離を畝間100cm×株間40cm、a当たり250株としたときの面積

2 耕種概要

項 目		単 位	備 考
栽植密度	株数	(株/a)	
	畝幅	(cm)	
	株間	(cm)	
1区面積		(m ²)	
反復数		(反復)	
播種期		(月 日)	セルトレイサイズ
鉢上日		(月 日)	ポリポットサイズ
定植期		(月 日)	生育ステージ
収穫期		(月 日～ 月 日)	
前作物			
堆肥施用		(t/a、 月 日)	
基肥量	N	(kg/a)	資材名、施用日
	P ₂ O ₅	(kg/a)	
	K ₂ O	(kg/a)	
追肥量	N	(kg/a)	資材名、施用日
	P ₂ O ₅	(kg/a)	
	K ₂ O	(kg/a)	
土壌区分			
土性			
腐植			
除草剤・病虫害防除		(薬剤名、 月 日)	
使用資材		(資材名、 月 日～ 月 日)	

3 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
定植時の 苗生育	草丈	地際から生長点までの高さ	A	測定	cm	1
	葉数	葉長2.5cm以上の葉	A	測定	枚	1
	茎径	子葉着生部と第1本葉の中間の短径	A	測定	mm	1
	第1花房着生節位	第1花房までの葉数	A	測定	節	1
開花始		50%の株で第1花房の第1花が開花した日	B	観察	月日	1
収穫	始	50%の株で収穫を開始した日	B	観察	月日	1
	終	収穫終了日	B	観察	月日	1
果房特性	果房形	シングル、ダブル、トリプル以上	B	観察	個	1
	開花数	各果房の開花数	B	測定	個	1
	着果数	各果房の着果数	B	測定	個	1
	着果率	(着果数/開花数)×100	B	算出	%	
生育 (定植後30日)	草丈	地際から生長点までの高さ	A	測定	cm	1
	葉数	葉長2.5cm以上の葉数	A	測定	枚	1
	茎径	第1花房と直下葉の中間の短径	A	測定	mm	1
	葉長	第1花房直下葉の長さ	A	測定	cm	1
生育 (栽培終了時)	草丈	地際から摘心位置までの高さ	A	測定	cm	1
	茎径	各花房と直下葉の中間の短径	A	測定	mm	1
病害等の発生	褐色根腐病 萎凋病 半身萎凋病 など	病害の種類別に発生株率を調査	A	観察	%	1

4 収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
収量* (a当たり)	旬月別個数・重量	総収量	A	測定	個kg	1
	良果個数・重量	出荷基準による良果	A	測定	個kg	1
	不良果個数・重量	出荷基準による不良果	A	測定	個kg	1
良果収量割合(重量)		(良果収量/総収量)×100	A	算出	%	
平均1果重		良果収量/良果個数	A	算出	g	
不良果の発生程度	裂果	(各個数/収穫個数)×100	A	算出	%	1
	乱形果		A	算出	%	1
	空洞果		A	算出	%	1
	条腐れ果		A	算出	%	1
	尻腐れ果		A	算出	%	1
	チャック・窓あき果		A	算出	%	1
	小果		A	算出	%	1
	病害		A	算出	%	1
	その他		A	算出	%	1

*: 収量には必要に応じて規格別割合をつける。

5 果実特性調査

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
					調査
果形	扁平 球 腰高 等	A	観察		
果色	赤 桃 等	A	観察		
花痕の大きさ	大(5) 中(3) 小(1)	A	観察	指数	1
糖度	ブリックス(5果以上)	A	測定	%	0.1
酸度	滴定(5果以上)	A	測定	%	0.1
食味	良(5) 中(3) 不良(1)	A	官能	指数	1
果実の硬さ	硬(5) 中(3) 軟(1)	A	官能	指数	1

6 調査試験栽培上の留意点

1)収量調査は地域での出荷基準で行う。